

おにいちゃんひなまつり

澤居 沙奈

わたしのおとうさんは、男ばかりのきょうだいだったので、ひなまつりをしたことがありませんでした。わたしが生まれたとき、ひなまつりができる、ひな人形がかえると思ってとてもよろこんだそうです。

3さいごろの小さかったわたしは、かわいいひな人形をほしかったそうです。でも、わたしのおにいちゃんが、紙ねん土をつかって、いもうとのわたしのために、いっしょうけんめいにひな人形をつくってくれたそうです。わたしは、おにいちゃんがつくってくれたひな人形がきにいったので、お店のひな人形をほしがらなくなったそうです。

おにいちゃんが、紙ねん土でつくってくれた人形は、おだいりさまとおひなさまの2人だけしかいません。ほんぼり、びょうぶ、さんぼう、おそなえもの、さかずき、しゃく、おうぎなど、こまかいものも手づくりで、ていねいに色をぬってくれてい

ます。小さくても、とてもかわいいひな人形です。

まい年、3月3日のひなまつりの日にかぎっておいわいしています。とてもたのしいおいわいの会になります。おにいちゃんのひな人形には、みんなをたのしい気もちにしてくれる力があると思います。

わたしは、小さいときから、おにいちゃんとずっといっしょでした。ようち園の入園しきでもとなりにならわってもらったし、ならいごとのおくりむかえもしてもらったし、おじいちゃん、おばあちゃんちにいくときも、でん車とバスでつれて行ってもらいました。あたらしいものがかつてもらおうのもうれいけど、おにいちゃんのおさがりをもらうのもうれいんです。でも、けんかするときもあります。すぐになかなかおいても、できないときもあります。これからは、すぐになかなかおります。おにいちゃん、いつもありがとう。